

都築 勉(つづき つとむ)

1. 学歴

1978年 東京大学法学部卒業、東京大学大学院法学政治学研究科政治専門課程修士課程入学

1985年 同博士課程単位修得退学(法学修士)

2. 職歴・研究歴

1985年 信州大学教養部専任講師

1988年 同助教授

1995年 同経済学部・経済システム法学科・公共システムと地域政策講座・助教授

1997年 同教授

1994年～2002年(隔年で半期)立教大学法学部非常勤講師(政治思想特殊講義)

2005年 学習院大学法学部非常勤講師(現代日本の政治思想)

3. 参加学会

日本政治学会、政治思想学会

4. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

「現代日本政治」「法学・政治学演習」(専門科目)「社会科学の対話」「社会科学ゼミナール」(専門基礎科目)「政治の発見」(共通教育主題別科目講義)

(b) 大学院

「地域の政治文化」(経済・社会政策科学専攻の地域社会イニシアティブ・コース)

B. 講義及びゼミナールの指導方針

講義はわかりやすく、ゼミはアットホームにしかし厳しく。

5. 研究分野及び研究テーマ

戦後日本の政治思想

丸山眞男を中心に、戦後知識人の政治思想を、同時代の政治との関連で分析する。

言葉と政治

政治家の言葉遣いの特徴を、誰もが日常的にやっていることの延長として、解明する。

6. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著・論文

著書

『戦後日本の知識人 - 丸山眞男とその時代 - 』（世織書房、1995年）、552頁。これは5年以上前のものだが、そもそも私が何をやっているかを示すために挙げる。

『政治家の日本語 - ずらす・ぼかす・かわす - 』（平凡社新書、2004年）、237頁。

論文

「丸山眞男論の現在」政治思想学会『政治思想研究』創刊号（2000年）、23 - 45頁。

「丸山眞男における政治と市民」高畠通敏編『現代市民政治論』（世織書房、2003年）、55 - 86頁。

(b) その他

『朝日新聞』論壇時評「私が選んだ3点」委員（1998 - 2000年）

『信濃毎日新聞』書評委員（2001 - 03年）

B. 学会等を通じた研究活動

(a) 国内外学会等での発表

「ある学問の成立 - 丸山眞男の日本政治研究 - 」政治思想学会第12回研究会「近代日本と西洋政治思想」研究会3「政治科学の成立 - 日本とアメリカ - 」2005年5月29日（於日本大学）

(b) 国内外研究プロジェクト

平石直昭東京大学社会科学研究所教授を研究代表者とする「1990年代日本の思想変容」2003年からで、04 - 05年度、基盤研究C。